

# 伐採及び伐採後の造林の届出書

伐採を開始する30～90日前に提出すること。

令和〇年〇月〇日

萩市長 ○ ○ ○ ○ 様

伐採者又は造林者が法人等の場合は、担当者の氏名・連絡先も記載すること。

届出人  
(伐採者)

住所 萩市江向〇〇番地  
氏名 ○○○○  
電話番号 ○○○○-〇〇-○○○○

(造林者)

住所 萩市土原〇〇番地  
氏名 ○○○○  
電話番号 ○○○○-〇〇-○○○○

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

本伐採は、届出者のうち○○○○が所有する立木を伐採するものです。

立木の所有者(=伐採者)の氏名を記入すること。

## 1 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は、該当する地番を全て記載すること。

## 2 伐採及び伐採後の造林の計画

別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

## 3 備考

伐採者は、土地所有者から立木を購入した者に相違ありません。

伐採者・造林者が登記簿上の土地所有者と異なるときは、両者の関係を記載すること。(留意事項を参照)

## <注意事項>

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採する者と伐採後の造林をする者が異なり、これらの者が共同して提出する場合には、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。
- 3 伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は少数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。

伐採方法が皆伐の場合

## 伐採計画書

届出書の届出人(伐採者)の住所・氏名を記載すること。

＜伐採する者の住所・氏名＞

住所 萩市江向〇〇番地  
氏名 〇〇〇〇

伐採が年をまたぐ場合は年次別の面積と人工林の面積を記載すること。

### 1 伐採の計画

伐採面積	0.80 ha (うち令和4年 人工林0.50ha、令和5年 人工林0.30ha)		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐採率	100 %
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	すぎ、ひのき		
伐採齢	50(50~60)年生	伐採開始は届出日から30~90日以降とすること。	
伐採の期間	令和年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日		
集材方法	集材路(架線・その他( ))		
集材路の場合 予定幅員・延長	幅員2.5m、延長200m		該当するものを○で囲み、その他の場合は( )内に具体的な方法を記入すること。

### 2 備考

住宅接近の伐採

林業目的以外の場合は、具体的な目的を記入すること。

### ＜注意事項＞

- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びびくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。  
伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○~○)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。

伐採方法が択伐の場合

## 伐採計画書

<伐採する者の住所・氏名>

届出書の届出人(伐採者)の住所・氏名を記載すること。

住所 萩市江向〇〇番地  
氏名 〇〇〇〇

伐採が年をまたぐ場合は年次別の面積と人工林の面積を記載すること。

### 1 伐採の計画

伐採面積	0.80 ha (うち令和4年 人工林0.50ha、令和5年 人工林0.30ha)		
伐採方法	主伐(皆伐・ <b>択伐</b> )・間伐	伐採率	30%
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	すぎ、ひのき	伐採率30%以下(伐採後に植栽する場合は伐採率40%以下)とすること。	
伐採年齢	50(50~60)年生	伐採開始は届出日から30~90日以降とすること。	
伐採の期間	令和年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日		
集材方法	<b>集材路</b> ← 架線・その他( )		
集材路の場合 予定幅員・延長	幅員2.5m、延長200m 該当するものを○で囲み、その他の場合は( )内に具体的な方法を記入すること。		

### 2 備考

--

#### <注意事項>

- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びびくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。  
伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇~〇)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。

伐採方法が間伐の場合

## 伐採計画書

届出書の届出人(伐採者)の住所・氏名を記載すること。

<伐採する者の住所・氏名>

住所 萩市江向〇〇番地  
氏名 〇〇〇〇

伐採が年をまたぐ場合は年次別の面積と人工林の面積を記載すること。

### 1 伐採の計画

伐採面積	0.80 ha (うち令和4年 人工林0.50ha、令和5年 人工林0.30ha)		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・ <b>間伐</b>	伐採率	35 %
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	すぎ、ひのき		
伐採年齢	50(50~60)年生		
伐採の期間	令和年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日		
集材方法	<b>集材路</b> ← 架線・その他( )		
集材路の場合 予定幅員・延長	幅員2.5m、延長200m		

伐採率35%以下とすること。

伐採開始は届出日から30~90日以降とすること。

該当するものを○で囲み、その他の場合は( )内に具体的な方法を記入すること。

### 2 備考

#### <注意事項>

- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びびくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。  
伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇~〇)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。

## 造林計画書

届出書の届出人(造林者)の住所・氏名を記載すること。

<造林をする者の住所・氏名>  
住所 萩市江向〇〇番地  
氏名 〇〇〇〇

### 1 伐採後の造林の計画

#### (1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積(A+B+C+D)	0.80	ha
人工造林による面積(A+B)	0.80	ha
植栽による面積(A)	0.80	ha
人工播種による面積(B)		ha
天然更新による面積(C+D)		ha
ぼう芽更新による面積(C)		ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )・なし	
天然下種更新による面積(D)		ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )・なし	

造林面積と伐採面積が合致すること。

#### (2) 造林の方法別の造林の計画

伐採が完了した日の翌年度の初日から2年以内とすること。

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林 (植栽・人工播種)	R5.4.1~ R6.3.31	すぎ ひのき	0.40 0.40	1,200 1,200	〇〇森林組合	防護柵の設置
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	—	—	—	/	/	—
5年後において的確な更新がなされない場合	—	—	—	—	/	—

### 3 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

--

### 4 備考

--

#### 注意事項

- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林又は木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあって、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であって、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

## 造林計画書

届出書の届出人(造林者)の住所・氏名を記載すること。

<造林をする者の住所・氏名>  
住所 萩市江向〇〇番地  
氏名 〇〇〇〇

### 1 伐採後の造林の計画

#### (1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積(A+B+C+D)	0.80	ha
人工造林による面積(A+B)		ha
植栽による面積(A)		ha
人工播種による面積(B)		ha
天然更新による面積(C+D)	0.80	ha
ぼう芽更新による面積(C)		ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )	なし
天然下種更新による面積(D)	0.80	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )	なし

造林面積と伐採面積が合致すること。

該当するものを〇で囲むこと。(通常は地表処理等は行わないと思われるので「なし」でよい。)

#### (2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林 (植栽・人工播種)	—	—	ha	本	—	—
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	R5.4.1~ R10.3.31	その他広葉樹	0.80			特になし
5年後において 的確な更新が なされない場合	R10.4.1~ R12.3.31	くぬぎ こなら	0.50 0.30	1,500 900		特になし

伐採が完了した日の翌年度の初日から5年以内とすること。

### 3 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

天然更新の期間が満了した日の翌日から2年以内とすること。

### 4 備考

#### 注意事項

- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林又は木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあって、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であって、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

## 造林計画書

間伐は更新を伴わない伐採であるため、  
伐採後の造林の計画は記載不要

<造林をする者の住所・氏名>

住所

氏名

## 1 伐採後の造林の計画

## (1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積(A+B+C+D)	—	ha
人工造林による面積(A+B)	—	ha
植栽による面積(A)	—	ha
人工播種による面積(B)	—	ha
天然更新による面積(C+D)	—	ha
ぼう芽更新による面積(C)	—	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他( )・なし	
天然下種更新による面積(D)	—	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他( )・なし	

## (2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の 期 間	造林樹種	樹種別の 造林面積	樹種別の 植栽本数	作 業 委託先	鳥獣害 対 策
人 工 造 林 (植栽・人工播種)	—	—	— ha	— 本	—	—
天 然 更 新 (ぼう芽更新・ 天然下種更新)	—	—	—	/	/	—
5年後において 的確な更新が なされない場合	—	—	—	—	/	—

## 3 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

--

## 4 備考

--

## 注意事項

- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林又は木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあって、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であって、伐採の終了日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。



伐採後に森林以外の用に供する場合

## 造林計画書

届出書の届出人(造林者)の住所・氏名を記載すること。

<造林をする者の住所・氏名>

住所 萩市江向〇〇番地  
氏名 〇〇〇〇

### 1 伐採後の造林の計画

#### (1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積(A+B+C+D)	—	ha
人工造林による面積(A+B)	—	ha
植栽による面積(A)	—	ha
人工播種による面積(B)	—	ha
天然更新による面積(C+D)	—	ha
ぼう芽更新による面積(C)	—	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )・なし	
天然下種更新による面積(D)	—	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )・なし	

#### (2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林 (植栽・人工播種)	—	—	— ha	— 本	—	—
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	—	—	—	/	/	—
5年後において 的確な更新が なされない場合	R10.4.1~ R12.3.31	くぬぎ こなら	0.50 0.30	1,500 900	/	特になし

### 3 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

宅地造成(転用予定時期:令和5年8月)

### 4 備考

具体的な用途、時期を記入すること。

伐採が終了した日の翌年度の初日から5年を経過した日において、森林以外の用に供されていない場合を想定して、造林の期間その他を記入すること。

### 注意事項

- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林又は木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあって、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であって、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。



確認通知書・適合通知書交付申請書

令和〇年〇月〇日

萩市長 〇〇〇〇 様

申請書 (伐採者) 住所 萩市江向〇〇番地  
氏名 〇〇〇〇

下記により提出した伐採及び伐採後の造林の届出書について、[ ~~確認通知書~~・適合通知書 ]の交付を申請します。

記

1 届出年月日

伐採届の届出年月日を記入すること。

令和〇年〇月〇日

2 届出を行った森林の所在

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

3 交付申請理由

合法木材の証明書にするため

4 その他

下記の者に適合通知書等の受理を委任します。

萩市大字福井下307番地1 阿武萩森林組合 代表理事組合長 金子栄一

(注意事項)

- 1 伐採者の住所・氏名を記入すること。(造林者も交付を希望する場合は、連名とすること。)
- 2 申請者が法人等の場合は、氏名欄に名称及び代表者氏名を記入すること。
- 3 押印は不要とする。
- 4 適合通知書等の受理を伐採を委託した業者等に委任する場合は、委任する旨・委任者の氏名・委任先をその他欄に記入すること。
- 5 合法木材の証明を必要とする場合は、收受印を押印した届出書を適合通知書等に代えることができる。